



答え

- 1 洞不全症候群（SSS）の原発的な障害部位はどこ？
 - a) 房室結節
 - b) 心室筋
 - c) 洞結節
 - d) His束
- 2 ルーベンスティン分類の1型（洞性徐脈）の心電図所見として正しいものは？
 - a) P波が消失しQRSも消える
 - b) P波は正常で、心拍数が50未満で規則的
 - c) QRS波が幅広くなる
 - d) RR間隔が完全に乱れる
- 3 洞房ブロック（SAブロック）の特徴は？
 - a) P波が小さくなる
 - b) PQ間隔が徐々に延長する
 - c) P波・QRS波がまるごと脱落し、PP間隔が倍数で延長
 - d) QRS波が2連発で出現する
- 4 洞停止の波形所見で正しいものは？
 - a) PQ間隔が短縮する
 - b) P波はあるがQRSが消える
 - c) P波・QRS波が脱落し、PP間隔は不規則に延長
 - d) f波が出現する
- 5 洞停止と洞房ブロックの最も大きな鑑別ポイントは？
 - a) QRS波の形状
 - b) PR間隔の長さ
 - c) 脱落間隔が基本周期の倍数かどうか
 - d) T波の有無
- 6 徐脈頻脈症候群（ルーベンスティン分類3型）の特徴は？
 - a) 徐脈のみが見られる
 - b) 頻脈のあとに規則正しいP波が並ぶ
 - c) 頻脈と徐脈が交互に現れ、頻脈後にPauseが生じる
 - d) QRS波が完全に消失する
- 7 洞性徐脈の原因として正しいのは？
 - a) 心室内のリエントリー回路形成
 - b) 洞結節からの電気信号の発生頻度低下
 - c) 房室結節の機能亢進
 - d) 心室補充調律の失敗
- 8 洞停止と診断される目安として正しいものは？
 - a) PR間隔が0.12秒以下
 - b) QRS波が連発する
 - c) P波が3秒以上見られない
 - d) RR間隔が1秒以下
- 9 洞停止で起こる「Pause」の原因は？
 - a) 洞結節が過興奮状態になる
 - b) 電気信号が心室で迷走する
 - c) 洞結節が電気信号を発生しないため
 - d) 房室結節が早期興奮を起こすため
- 10 徐脈頻脈症候群に含まれる頻脈性不整脈の代表例は？
 - a) 洞停止
 - b) 洞房ブロック
 - c) 心房細動や上室頻拍
 - d) 完全房室ブロック